

石原

孫助藤原重宗しげむねハ父ちちと大藏性宗おほのくらねむねトシ

信濃小治り性宗武田家小治り重宗も

こゝろ武田家小治り其後蘆田右清坊

信蕃小治り天正十年勝頼没落の後

東照宮甲斐国新府小治出馬のとき

信蕃に従ひ清麿小治りて軍忠と

盡つひ一いっ寛永かんえい八月夏生田の砦と攻拔とらたり

武徳大成記因
朝ノ業廣祀

六の後信蕃ヲ男修理左史康國

其子右衛門左史康貞小左（子）以上野國

藤岡小左（家）儀（子）功小左（子）よりて廣長

五年關原清陣の時めされ給奉り

加りぬ其子孫助右宗（子）八上野小生（子）寛永（子）

こゝめ八左衛門（子）小左（子）蘆田（子）限（子）

東照宮

右徳院殿小左（子）之奉りて左坂夏清陣小

供奉（子）寛永（子）かくて上野國厩橋領内

小して采地とふまひ月俸と添（子）

元和九年駿河大納言忠長卿小附属セ

らまは彼御事ある後慶士（子）より寛

永十六年十二月めさ（子）ま（子）

大猷院殿小左（子）よりまつり上總國武射（子）

郡の内より五十石廩米二十俵月俸

六口成りまひ富士見番（子）つ（子）は後奥

方以廣敷番に轉以

家譜 今の小普請石原
孫助義陳の祖なり

石原

新庄藩 藤原某ハ清次郎正秋の子まことつとか

つと 按之からし甲斐國志小より名不新庄藩の守明と稱せし
あやされとも疑し此事あはれは本文に記さしむるにて

石原は系圖詳うしころ事多し今其方ハ 甲斐又し
家譜に譲りてしりし教員を以

生を父子ととに武田家しつ久之天正

十年勝頼没後

東照宮甲斐國小お入せ給ふしとせめさ

まきまきんえ奉つし 寛永 同十一年六月